

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備（日本版DMO）

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (10,102千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図った。	観光振興室
訪日外国人観光客の広域周遊状況調査等事業 (500千円)	台湾において日本の観光地をPRするフェイスブックアカウント『日本旅行情報局』を活用し、訪日旅行や本県の認知度等についてのプロトコル調査(ネットリサーチ)を実施した。	観光振興室
富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査)事業 (3,982千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
観光マーケティング戦略委員会運営等事業 (4,589千円)	有識者、観光関係事業者等で構成する「観光マーケティング戦略委員会」において、DMOの取組みを報告し、今後のDMO事業の方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (616千円)	(公社)とやま観光推進機構の会員事業者(観光事業者、交通事業者、宿泊事業者等)、市町村、観光協会等を対象に、広域観光とデジタルの活用に関するセミナーを開催した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (6,150千円)	意欲のある市町村と連携し、四季を通じて県内の上質なライフスタイルを体験できる富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを行った。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (15,661千円)	市町村と連携し、近隣県駅での広告や番組制作・放映、首都圏向けのプロモーション等での効果的、効率的な観光PRを実施する。また、SNSを活用して観光資源の魅力を発信し、周遊性を高めることなどで、県内の滞在時間の増加を促進した。	観光振興室

まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (15,786千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (9,766千円)	マーケティングデータに基づき、SNSを活用した富山県の魅力の拡散に努め、オンラインエージェントと連携したプロモーションを行うとともに、とやま観光ナビの発信力強化、近隣県タウン誌への記事掲載をはじめとしたメディアへのPRを行った。	観光振興室
インバウンド向け旅行商品の販売事業 (917千円)	令和元年度に訪日グローバルキャンペーン事業で作成したコンテンツをOTAを活用して欧米豪をはじめとするインバウンド向けに旅行商品として販売した。	観光振興室

(2) グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来創造塾事業 (18,880千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図ったほか、とやま観光未来創造塾10周年を記念したセミナーを開催した。 ○修了生 43名 (内訳)観光地域づくり入門コース 9名 観光ガイドコース(中級専攻) 8名 観光ガイドコース(上級専攻) 3名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 6名 観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 10名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 1組3名	観光振興室

(3) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来創造塾事業（再掲） (18,880千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図ったほか、とやま観光未来創造塾 10周年を記念したセミナーを開催した。</p> <p>○修了生 43名 (内訳)観光地域づくり入門コース 9名 観光ガイドコース（中級専攻）8名 観光ガイドコース（上級専攻）3名 観光ガイドコース（インバウンド専攻）6名 観光魅力アップコース（観光地域リーダー専攻）10名 観光魅力アップコース（食のおもてなし専攻）3名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 1組3名</p>	観光振興室
おもてなしタクシードライバー養成事業 (758千円)	<p>タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成研修：令和2年7月30日 ・表彰：令和2年12月6日、表彰者11人 <p>コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月16日、23日、30日（参加者39人） 	観光振興室
「観光おもてなし5つ星制度」普及促進事業 (1,173千円)	<p>「『休んでかれ。』宣言」登録事業者を対象とした、おもてなしのステップアップを促進するための「観光おもてなし5つ星制度」において、おもてなしセミナーを開催し、おもてなし力の向上と機運醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー実施日：令和3年1月15日、2月3日、2月22日、3月3日 ・参加人数：47名（22事業者） ・星取得事業者：111事業者 	観光振興室

(4) 旅行者の満足度を向上させる受入環境の整備・支援

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (3,130千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地 誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識（県事業） 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新設1件 改修12件	観光振興室
旅館施設近代化 等促進事業 (6,574千円)	宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整 備に対する融資（富山県商業サービス業活性化資金観 光旅館施設整備枠融資制度）により、宿泊施設の誘客 力の向上を図った。 ・融資件数 継続分 4件	観光振興室
クルーズ乗船客 おもてなし向上 事業 (250千円)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業中 止	観光振興室
自然公園等整備 事業等 (158,792千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の 主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷 において、安全で快適な利用を推進するために歩道や 山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上な どを図った。	自然保護課
生活衛生関係営 業施設における 利用者サービス の向上に対する 支援 (211千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル 旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施 設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対 し、補助を行った。	生活衛生課
有峰森林文化村 推進費 (49,375千円)	豊かな森林を有する有峰において、有峰森林文化村 公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、計画的 な保守点検の実施等、利用者が安心して施設利用等が できるよう努めた。	森林政策課

<p>県立都市公園の整備・改修 (1,235,037千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森 	<p>都市計画課 環境政策課</p>
<p>県立都市公園の維持管理 (1,054,383千円)</p>	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森 	<p>都市計画課 環境政策課</p>

(5) 観光産業と他産業の連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>(公社) とやま観光推進機構運営費等補助金 (9,129千円)</p>	<p>富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>(公社) 日本観光振興協会負担金 (718千円)</p>	<p>(公社) 日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援を行った。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>とやま起業未来塾事業 (24,240千円)</p>	<p>「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了者数 21名 	<p>経営支援課</p>
<p>「富山県の『匠』展」開催事業 (3,500千円)</p>	<p>本県の伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、北京市において展示会を行い、優れた技術や魅力をPRした。</p>	<p>経営支援課</p>

(6) 観光の担い手としての事業者・県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (1,717千円)	富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、誘客促進を図った。 ・作成部数 新作 1,000部(2種類) 増刷 900部(3種類)	観光振興室
ふるさと魅力発見PR事業 (4,000千円)	富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。 ・受検者数 453名	地方創生・中山間対策室
富山ふるさとマスター派遣事業 (800千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等(富山ふるさとマスター)を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20人 ・派遣回数 11回	地方創生・中山間対策室
元気とやま県民協働事業 (1,595千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 7件	少子化対策・県民活躍課
富山の文化遺産魅力発信事業 (616千円)	とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会を立ち上げ、重要文化財「常願寺川砂防施設」やユネスコ無形文化遺産をはじめとした本県の文化遺産の魅力の情報発信を図った。 ・HP「とやまの文化遺産」の多言語化(英語版)作成 ・リーフレット「水の王国：とやま」作成 35,000部 ・わかりやすい文化財説明板設置事業 等	生涯学習・文化財室
文化財の美装化等推進事業 (25,852千円)	重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町」の町並みの外観修理や重要文化財「勝興寺」及び国宝「瑞龍寺」の防災設備の設置等に対して、支援した。 ・補助件数 5件	生涯学習・文化財室

文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	生涯学習・文化財室
とやまのユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (46千円)	とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会を立ち上げ、本県のユネスコ無形文化遺産の人材育成・情報発信を図った。 ・ユネスコ無形文化遺産普及事業（巡回パネル展）の実施（高岡市、魚津市、南砺市で開催）	生涯学習・文化財室

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光ハブ（交通結節点）としての優位性を活かした拠点整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所 運営事業 (5,298千円)	新幹線駅など県内4か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業 (15,589千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観光地アクセス充実事業 (16,514千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部に対し助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件 ツアーバス 5件	観光振興室
乗りたくなる公共交通推進事業費 (363千円)	交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピングなど）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 3件	総合交通政策室
新幹線アクセス路線バス等運行支援事業費 (980千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 3件	総合交通政策室
富山空港利用促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	総合交通政策室
富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリアとのアクセス改善事業 (655千円)	富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリア（白川郷）を直接結ぶ、高速直行バスへの運行支援（11回）など	総合交通政策室

(3) 広域観光の拠点としての賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (9,208千円)	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花見フェスタ」「イルミナイト&ハロウィンマーケット」「オータムファンタジアナイト」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など 	観光振興室
学習支援船の運航事業 (2,500千円)	<p>富岩運河を活用した学習支援船(富岩水上ライン)の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりを図った。</p>	観光振興室
富岩水上ライン利用促進事業 (4,676千円)	<p>富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット・ポスター作成、PR連携協定調印式 など 	観光振興室
環水公園光の空間創出事業 (10,000千円)	<p>富岩運河環水公園において光のオブジェを設置し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p>	観光振興室

3 富山らしい魅力創出：量から質への転換を促進

(1) 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」の高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」世界ブランド化推進事業費 (4,485千円)	「立山黒部」の保全と利用を考える検討会において提案された各プロジェクトについて調査分析や進捗管理を実施した。	観光振興室
黒部ルート情報発信事業費 (4,300千円)	令和6年度の一般開放・旅行商品化に向けてPRを実施するため、HP・パンフレットを制作した。	観光振興室
黒部ルート等のPR映像等制作事業費 (6,700千円)	プロモーションや旅行商品造成に活用するため、魅力ある観光資源の映像等を4Kで撮影し、PR映像を制作した。	観光振興室
黒部ルート旅行商品企画運営事業費 (5,145千円)	旅行商品化に向けて旅行商品の運営主体を選定し、商品の企画や販売体制の構築等の業務を実施した。	観光振興室
黒部ルートの携帯電話エリア化調査事業 (9,000千円)	黒部ルートの携帯電話不感エリア解消に向け、電波状況等の調査を実施した。	情報政策課
黒部ルート等魅力向上検討事業 (435千円)	黒部ルートを含む旅行商品の満足度向上や宇奈月温泉街等の魅力創出等を促進するため、黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議や実務者連携会議を開催した。 ・実施回数 準備会議：1回 実務者連携会議：3回	観光振興室
黒部ルート公募見学会参加者への水の配布 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
「立山黒部」気象条件等基礎調査事業 (2,328千円)	アルペンルートの早期開業の可能性を検討するため、積雪期における「雪の大谷」周辺の気象・雪崩等の調査を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」繁忙期ボトルネック解消事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
ロープウェイ整備調査事業 (35,613千円)	ロープウェイ整備に向けた地形・地質等各種調査の経費を支援した。	観光振興室
美女平・弥陀ヶ原等滞在周遊検討事業 (7,140千円)	美女平～室堂間の散策コースのブラッシュアップ等滞在周遊の具体策の調査検討を実施した。	観光振興室
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室
観光地区開発事業費 (1,446千円)	五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1件	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進事業負担金 (62千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・標識や案内看板等の整備 など	観光振興室
世界遺産登録推進事業 (6,500千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	企画調整室

<p>「立山黒部」エリアにおける通信インフラ整備事業 (118,298千円)</p>	<p>立山黒部の世界ブランド化を推進するため、人気の登山ルートである立山「一ノ越～五色ヶ原」間の携帯電話不感エリアの解消に向けて基地局を整備した。</p> <p>また、令和6年度に一般開放される黒部ルートの、携帯電話不感エリア解消に向けて、電波調査等を行った。</p> <p>室堂地区の山小屋等に整備した TOYAMA Free Wi-Fi の運用を行った。</p>	<p>情報政策課、防災・危機管理課</p>
<p>立山博物館管理運営費 (192,739千円)</p>	<p>立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展(2回)の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (127,178千円)</p>	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会(14回、201人参加)を実施し、参加者にPRを行った。</p>	<p>砂防課</p>

(2) 世界で最も美しい富山湾の魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (1,235千円)</p>	<p>官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みに対し支援等を行った。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>新湊マリーナ魅力発信強化事業 (3,718千円)</p>	<p>新湊マリーナへの自家用船舶オーナー誘致を図るため、県外船舶オーナーを対象とした新たな交流体験ツアーや県外在住者を対象としたレンタルボートを実施した。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>極東杯国際ヨットレース開催支援事業 (一)</p>	<p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし</p>	<p>観光振興室</p>

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山湾岸サイクルツーリズム推進事業 (4,465千円)	とやまサイクルナビの開設、サイクリングマップの改訂、サイクルトレインを活用したモデルサイクリングコースの情報発信等を実施した。	観光振興室
富山湾岸エリア誘客促進事業 (992千円)	ジャパンインターナショナルボートショーに出展した。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」ネットワーク強化・魅力発信事業 (101千円)	国内加盟湾と連携したPR等を実施した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業縮小	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」モロッコ総会派遣事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
富山湾国際ブランド発信事業 (1,598千円)	富山湾魅力発信デジタルコンテンツの充実、富山湾の海遊びを紹介するPR雑誌「富山湾を遊ぼう」を発行した。	観光振興室
富山湾の魅力発信事業 (9,955千円)	釣り・食・景観等を組み合わせた「冬の富山湾の新たな楽しみ方」を発掘し、雑誌への体験記事の掲載、撮影した動画のSNS等での発信、オンライン体験会、現地体験会を実施した。	観光振興室
サイクルフェスタとやま2020開催事業 (3,999千円)	普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2020」を開催した。	企画調整室

サイクリングコース整備事業 (173,999千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を実施するとともに、「田園サイクリングコース」の延伸整備を実施した。 ・ナビゲーターラインの整備 ・コース分岐点路面表示の設置 ・自転車専用道路等の整備	道路課
海王丸保存活用事業 (94,781千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、縦帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課
帆船海王丸一般公開30周年記念事業 (1,400千円)	一般公開30周年を機に、改めて帆船海王丸の魅力を広く発信し、更なるにぎわい創出を図るため、記念式典や記念講演会、パネル展、イベント等の記念事業を実施した。	港湾課

(3) 豊かな食の磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
JR連携富山の食の魅力PR事業 (6,310千円)	水産漁港課が東京駅で実施するレストランフェアと連動して東京駅構内で物産展を開催し、富山の食の魅力発信、誘客促進を図った。 令和2年10月1日～10月4日	観光振興室
「越中料理」推進事業 (1,500千円)	新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山県ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。 ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・創作「越中料理」キャンペーンの実施	観光振興室
イタリアン食の祭典開催事業費 (8,369千円)	県民・観光客向けのイタリア料理イベントを開催し、本県の多彩な食材や県産品の魅力発信と販路開拓を図った。 ・イタリアン食の祭典（一般向けイベント） 日時 令和2年9月22日 場所 富岩運河環水公園	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (5,618千円)	<p>ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの旬」応援団の募集(7,024名)と活動支援 ・県産品購入ポイント制度の実施(約3万件の応募) 	農林水産企画課
「とやま食の匠」の認定・普及 (11千円)	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定 3個人・団体(計 167個人・団体) ・講師派遣 2回 ※新型コロナの影響でイベント減 	農林水産企画課
富山米のブランド力向上 (225,178千円)	<p>県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、「富富富」など富山米のPRとブランド力向上を図った。</p>	農林水産企画課
「富のおもちかえり」販路拡大・ブランド化事業 (1,650千円)	<p>本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販売拡大を目指し、セット販売の実証やPR販売を行った。</p>	農林水産企画課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (2,660千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣(富山産業展示館、令和2年10月31日～11月1日) 県内を中心に約10,000人が来場。県外や自宅でも楽しめるライブ配信を実施。 ・冬の陣(黒部市内、令和3年1月中旬～2月上旬) 「越中料理と地酒を楽しむフェア」 <p>※開催に向け準備したが、新型コロナ感染拡大により中止</p>	農林水産企画課
ふるさと認証食品(Eマーク)制度の普及 (363千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品(Eマーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7商品を新規に認証、令和2年度末230商品 	農林水産企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山のさかな・水産加工品」 ブランド化推進事業 (9,344千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、首都圏における重点PRや実食機会の拡大による評価向上に取り組んだ。 ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページでの県内料理人・漁師の魅力発信(多言語化対応)等 ・「富山のさかな」おもてなしフェア ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための実施実績なし ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための実施実績なし ・「富山湾の秋の味覚」フェア (令和2年10月1日～31日)	水産漁港課

(4) 伝統文化、工芸品等上質な富山を提供する観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まちの未来創造モデル事業 (19,777千円)	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、まちづくり計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。 ・神秘的資源を魅力に！大岩まちの未来創造事業(上市町) ・伝統文化「まつり」を核とした地域の賑わいづくり事業(射水市) ほか2件	地方創生・中山間対策室
「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (9,944千円)	「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。 ・2品目2事業者を新たに認定。併せて認定済みの品目を扱う事業者として新たに1事業者を認定。 ・認定品を紹介するパンフレット及びPR映像を制作	広報課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (5,025 千円)	事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。 ・ 8 品目 8 事業者を新たに選定 ・ 補助件数 18 件	広報課
地域文化力向上・活性化支援事業 (1,928 千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・ 補助件数 8 件	文化振興課
内山邸文化の魅力再生事業 (1,293 千円)	平成 10 年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興課
とやまのお土産新ブランド創出事業 (3,000 千円)	北陸新幹線敦賀開業を見据え、お土産ブランドの新鮮味や話題性を高め、本県の魅力発信を更に強化するため、越中お土産プロジェクト第 3 弾として「美・癒し」をテーマに新ブランドの開発・商品化に取り組んだ。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド 観光ビジネス支援事業 (5,000 千円)	北陸新幹線の敦賀開業や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の充実に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・ 採択件数 5 件	経営支援課
地産地消の推進 (再掲) (5,618 千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・ 「とやまの旬」応援団の募集 (7,024 名) と活動支援 ・ 県産品購入ポイント制度の実施 (約 3 万件の応募)	農林水産企画課

(5) 産業観光、ロケ地、スポーツ等多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業 (1,039 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った (5 件)。	観光振興室

<p>教育旅行誘致促進事業 (4,617千円)</p>	<p>首都圏旅行会社の教育旅行担当者に対するオンラインでの商談会の実施や専門誌への広告掲載、プロモーション動画の制作等により、富山県への教育旅行を提案してもらえるよう働きかけた。</p> <p>また、県内事業者や観光担当者に対する誘致検討会や教育旅行受入セミナーの実施により、県内の受入体制の強化に努めた。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>アートのまちめぐりパスポート事業 (3,000千円)</p>	<p>富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>着地型旅行商品造成事業 (11,636千円)</p>	<p>本県の魅力再発見につながる新たな着地型旅行商品の造成費用に対して支援した。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>とやま夏期大学の開催 (4,000千円)</p>	<p>富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学 in Autumn」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和2年10月2日～10月4日 ・開催地 立山国際ホテル 	<p>地方創生・中山間対策室</p>
<p>プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)</p>	<p>プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施 	<p>スポーツ振興課</p>
<p>マラソン大会開催事業 (30,000千円)</p>	<p>「富山マラソン2020」の開催準備 (5月29日に開催中止決定)</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>サイクルフェスタとやま2020開催事業 (再掲) (3,999千円)</p>	<p>普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2020」を開催した。</p>	<p>企画調整室</p>

富山県自転車活用推進事業費補助金 (636 千円)	自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。 補助実績 1 件	企画調整室
富山県美術館管理運営費 (494,305 千円)	平成 29 年度に富岩運河環水公園内に移転新築した富山県美術館において、常設展や企画展（4 回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
水墨美術館管理運営費 (138,378 千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（5 回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
高志の国文学館管理運営費 (200,372 千円)	富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、観光客を含め、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。 ・企画展（4 回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（28 回）	文化振興課
世界的舞台芸術拠点づくり推進費 (120,542 千円)	「舞台芸術特区 T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン 2020」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興課
イタイイタイ病資料館管理運営費 (46,486 千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。 ・語り部講話、特別企画展 ・資料の収集及び保管 等	健康課
とやま中小企業チャレンジファンド 観光ビジネス支援事業 (再掲) (5,000 千円)	北陸新幹線の敦賀開業や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の充実に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数 5 件	経営支援課

<p>とやま帰農塾推進事業 (4,083 千円)</p>	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流・関係人口の拡大、移住の促進、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（7市町 全6講座） <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4塾中止</p>	<p>農村振興課</p>
<p>とやま都市農村リモート交流事業 (3,500 千円)</p>	<p>コロナ禍においても都市と農村との人的交流を継続するため、リモートによる新たな交流スタイルを創出し、移住・定住の促進を図るため、「とやま帰農塾」と「農山漁村インターンシップ」をオンラインで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン帰農塾の実施（2塾） ・とやま農山漁村WEBインターンシップの実施（1地区） ・とやま帰農塾実施地域のPR動画制作（5地区） 	<p>農村振興課</p>
<p>サイクリングコース整備事業 (再掲) (173,999 千円)</p>	<p>「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を実施するとともに、「田園サイクリングコース」の延伸整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーターラインの整備 ・コース分岐点路面表示の設置 ・自転車専用道路等の整備 	<p>道路課</p>
<p>うるおいある景観づくり推進事業費 (6,069 千円)</p>	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援 ・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援 ・とやまビューポイントの追加指定 など 	<p>建築住宅課</p>

<p>中央植物園ウェルカム態勢向上事業 (20,854千円)</p>	<p>中国雲南省から導入した植物コレクションや日本有数のサクラコレクションを有する中央植物園において、国内外の団体旅行客等の利用を促進するため、必要な施設の整備を行うとともに、潜在的な魅力の発掘・発信などウェルカム態勢の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 Wi-Fi の整備 ・ウオーキングサインの設置 ・富山県中央植物園活用協議会の開催 	<p>森林政策課</p>
--	---	--------------

(6) 冬季の魅力創出による通年観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>環水公園等賑わい空間創出事業 (再掲) (9,208千円)</p>	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花見フェスタ」「イルミナイト&ハロウィンマーケット」「オータムファンタジアナイト」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など 	<p>観光振興室</p>
<p>環水公園光の空間創出事業(再掲) (10,000千円)</p>	<p>富岩運河環水公園において光のオブジェを設置し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p>	<p>観光振興室</p>
<p>「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (2,660千円)</p>	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣(富山産業展示館、令和2年10月31日～11月1日) 県内を中心に約10,000人が来場。県外や自宅でも楽しめるライブ配信を実施。 ・冬の陣(黒部市内、令和3年1月中旬～2月上旬) 「越中料理と地酒を楽しむフェア」 開催に向け準備したが、新型コロナ感染拡大により中止 	<p>農林水産企画課</p>

<p>「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業（再掲） （9,344 千円）</p>	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、首都圏における重点PRや実食機会の拡大による評価向上に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページでの県内料理人・漁師の魅力発信（多言語化対応）等 ・「富山のさかな」おもてなしフェア ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための実施実績なし ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための実施実績なし ・「富山湾の秋の味覚」フェア （令和2年10月1日～31日） 	<p>水産漁港課</p>
---	--	--------------

4 戦略的なプロモーション

(1) 「海のあるスイス」のイメージ醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (250 千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業 (23,000 千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光振興室

(2) ターゲットの特性に応じ、リピーターや定住をも意識した効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「いきいき富山館」管理運営事業 (24,000 千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
観光誘客・ネットセール事業 (108,168 千円)	県内の優れた特産品を、割り引かれた価格でECサイトにて販売し、購入者に対して富山県の観光情報を提供した。	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (7,826 千円)	JR仙台駅構内において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ・仙台(令和2年11月13日～11月15日) JR仙台駅	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000 千円)	北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光パンフレット等作成 (2,723 千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」を作成・配布し、誘客を図った。	観光振興室
「パノラマ・キトキト富山」新聞発行事業費 (3,500 千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キトキト富山」新聞の制作を支援し、首都圏等からの誘客促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行回数 1回 (R2年4月発行) ・発行部数 125万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光振興室
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業(再掲) (23,000 千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光振興室
観光ホームページ等更新事業補助金 (1,300 千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にPRし、誘客促進を図った。 ・観光ホームページのサーバーの運営管理 ・既存ページの修正・情報追加 ・セキュリティ対策 など	観光振興室
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (34,083 千円)	(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光振興室
冬季誘客促進事業 (850 千円)	冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、一定数の観光客の誘客が見込める団体ツアーに対して助成を行った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県ゴートゥ &ウェルカム・ホ ーム促進事業 (370,345千円)	全国の観光地の中から富山県を選んでもらい、観光需 要の回復に繋げるため、県内宿泊者に富山県ならではの 特産品等をプレゼントした。	観光振興室
地元で泊まろ う！県民割引キ ャンペーン (285,273千円)	県内の観光需要の回復を図るため、県民向けに宿泊割 引キャンペーンを実施した。	観光振興室
地元で遊ぼう！ ドコイコとやま 旅。富山県民割引 キャンペーン (36,361千円)	県民向けに県内着地型旅行商品を割引価格で販売し た。	観光振興室
首都圏情報発信 拠点運営事業費 (148,924千円)	物販、飲食、観光・定住・U I J ターンに係る情報提 供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なラ イフスタイルを発信した。 ・令和2年度来館者数：約16万9千人 ・ 〃 売上げ：約1億7200万円	地方創生・ 中山間対策 室
首都圏とやまの 魅力発信事業 (23,053千円)	日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県 庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介 するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベ ントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報 発信を行った。	地方創生・ 中山間対策 室
首都圏観光・定住 促進事業 (11,276千円)	日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及 び情報提供を行った。 ・令和2年度相談対応：延べ約1万7千人	地方創生・ 中山間対策 室
N E W コンテン ツを活用した首 都圏魅力発信事 業 (7,467千円)	首都圏メディアへのリリース配信、マスコミ各社との リレーション構築、イベント出展といった従来の活用媒 体に加え、首都圏独立放送局3局での番組放映や、本県 の食や観光を体験できるオンライン交流会の実施等、新 たなコンテンツを活用して富山の魅力発信を行った。 ・リリース配信 10回 ・イベント開催・出展 3回 ・テレビ番組放映 3回 ・オンライン交流会開催 2回 ・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布	企画調整室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
トヤマ・ジャスト・ナウ (1,787千円)	県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。 ・毎週水曜日に1つの記事をホームページで配信	広報課
元気とやま応援寄附金 (15,681千円)	一定額以上のふるさと納税(寄附)者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・HPでのPR ・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【令和2年度：寄附件数 2,587件、寄附金額 36,363千円(新型コロナウイルス対策応援基金分等を除く)】	税務課
富山くすりフェア開催事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	くすり政策課
「富山のくすり」販路拡大推進事業 (800千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 日時：令和3年2月19日～2月21日 場所：日本橋とやま館(東京都)	くすり政策課

(3) 交通事業者、大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
JRタイアップ富山旅行定着促進事業 (18,054千円)	JR各社とのタイアップによる広告宣伝等を展開し、北陸新幹線の開業効果の持続並びに誘客促進を図った。 【首都圏・新幹線沿線地域でのタイアップ】 ・びゅう旅行商品「富山とりっぷ」の造成 【関西圏・中京圏でのタイアップ】 ・大手旅行会社における旅行商品の造成促進 ・会員誌への広告出稿	観光振興室

北陸三県通年誘客 キャンペーン事業 (10,000 千円)	北陸三県や北陸経済連合会、J R 西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。	観光振興室
北陸三県新型コロナ ウイルス対策事 業 (5,000 千円)	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光客が減少し北陸地域の観光産業が大きな影響を受けたことから、ウィズコロナを意識しながら即効性のある取組みを実施し需要喚起を図った。 ・旅行会社店頭販促キャンペーン ・交通媒体を活用した情報発信 など	観光振興室
北陸三県誘客促進 連携協議会負担金 (3,000 千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るため、北陸三県及びJ Rとの連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・レジャー記者招聘 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光振興室
北陸広域観光推進 協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
富山県・岐阜県連 携観光誘客事業 (2,442 千円)	富山県・飛騨地域の広域観光周遊ルートを確立するため、岐阜県と連携し、高速道路定額乗り放題企画を実施した。	観光振興室
飛越能経済産業観 光都市懇談会負担 金 (100 千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のP R等を行い、広域観光の促進を図った。 ・インバウンド向け観光ポータルサイトの構築 ・SNS 広告配信 など	観光振興室
富山・長野新旅行 商品造成促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
(公社) 日本観光 振興協会観光情報 システム負担金 (200 千円)	(公社) 日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光振興室

「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000 千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地を結ぶ国道 41 号沿線地域（ノーベル街道）の魅力を体感してもらうスタンプリー（富山市岩瀬地区、富山市南地区、飛騨市古川町）を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光の振興を図った。	観光振興室
JR 連携富山の食の魅力 PR 事業(再掲) (6,310 千円)	水産漁港課が東京駅で実施するレストランフェアと連動して東京駅構内で物産展を開催し、富山の食の魅力発信、誘客促進を図った。 令和 2 年 10 月 1 日～10 月 4 日	観光振興室
東京便利用促進旅行商品造成支援事業 (5,595 千円)	富山 - 羽田便の利用促進のため、同便を利用する団体観光旅行の造成に対して、助成を実施した。	総合交通政策室
ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850 千円)	北陸三県の行政機関と新聞社が連携し、「交流人口拡大」をキーワードに、北陸の魅力を首都圏で発信するとともに、地元読者にも周知するなど、北陸エリアの地域力向上のための事業を実施した。	地方創生・中山間対策室
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600 千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 ・北陸 3 県の観光ホームページ「北陸物語」のリニューアル ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	広報課
飛越地域等との交流推進事業 (536 千円)	飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地方創生を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、当該地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、古くから伝わる祭りや匠の技、味等の PR 活動を全国に向け展開した。 (協議会の主な事業) ・パンフレットやホームページによる PR ・飛越地域への誘客の促進	企画調整室

(4) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光 PR 事業 (4,000 千円)	本県が舞台やモデルとなった映画等の公開にあわせて、ロケ地富山の魅力や観光情報を発信した。 ・映画「大コメ騒動」及び「おもいで写真」のロケ地マップの作成・配布等	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ロケツアーリズム推進事業 (2,081 千円)	<p>本県出身本木克英監督の映画「大コメ騒動」を活用し、首都圏や関西圏からの誘客の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏及び関西圏の主要 JR 駅にて「大コメ騒動」を活用したロケ地 P R 広告の実施等 	観光振興室
木曾義仲・巴御前魅力発信事業 (660 千円)	<p>越中富山を舞台に活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発信などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義仲・巴」の魅力を積極的に P R するため、2 人が残した功績や伝承、ゆかりの地を全国に紹介する F M ラジオ番組の制作・放送 ・埴生護国八幡宮、巴塚の松など県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	企画調整室

5 国際観光の推進：新たなゴールデンルートの形成に向けて

(1) 広域観光周遊ルートの形成促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ビジット・トヤマ広域連携強化事業 (8,852千円)	北陸新幹線沿線地域や国の訪日プロモーション地方連携事業等と連携し、SNSを活用した記事型広告や現地プロモーションの実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社)中央日本総合観光機構負担金 (3,000千円)	中部9県3市の観光事業に関する中枢機関である(一社)中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	北陸3県及び管内自治体等と組織している「北陸国際観光テーマ地区推進協議会」において、現地旅行会社向けオンラインセミナーの開催や海外有力メディアを活用した記事広告を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光振興室
(独)国際観光振興機構負担金 (700千円)	(独)国際観光振興機構(JNTO)の賛助団体に加入し、JNTOの海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外へのPRにより、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室

(2) 外国人個人旅行者(FIT)の受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
東南アジア等外国人対応飲食店育成事業 (1,500千円)	県内飲食店を対象としたベジタリアン、ムスリム受入対応研修会等を実施し、訪日外国人旅行者の受入環境向上を図った。	観光振興室
国際観光インターンシップ促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
中国FIT誘客促進・PR強化事業 (1,200千円)	富山県公式中国版SNSを活用し、富山県の観光地やイベント等を発信することにより、中国における認知度の向上及び誘客の促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ANA連携東南 アジアFIT誘 客事業 (3,080千円)	ANAと連携し、デジタルマーケティングの手法を活用しながら、インターネット及びSNS広告を展開し、本県観光資源のPRや羽田乗継便を活用した航空券の販売を通じて誘客の推進を図った。	観光振興室
タイFIT等誘 客促進事業 (270千円)	新たな市場への誘客拡大を図るため、タイ旅行博への出展を行った。	観光振興室
訪日旅行商品造 成支援事業 (300千円)	インバウンド専門アドバイザーと連携し、新たな旅行商品造成に必要な情報について、FIT向け旅行商品を扱う現地旅行会社と協議・意見交換等を行った。	観光振興室
インバウンド滞 在コンテンツ磨 き上げ事業 (10,599千円)	魅力的な滞在コンテンツの造成を図るため、富山湾鮎の魅力向上のための多言語によるホームページでの情報発信や店内でのパンフレット等の配布を行ったほか、高志の紅ガニと伝統産業体験を組み合わせたコンテンツの造成を行った。	観光振興室
インバウンド対 応スキルアップ セミナー、専門家 個別巡回事業 (5,951千円)	アフターコロナにおける需要回復期を前に、県内事業者を対象にインバウンド対応に関する実務的セミナーの開催や専門家による個別巡回を行った。	観光振興室
多言語案内デジ タルツール製作 事業 (5,906千円)	コロナ収束後の県内観光の満足度向上を図るため、IC、QRコード等を活用した多言語による新たな観光案内ツールを製作した。	観光振興室
富山県外国人旅 行者受入環境整 備促進事業 (50千円)	多言語でのコミュニケーションや多言語表記、免税手続機器の導入など新たな消費拡大の取組みに対する支援等により、受入環境の整備を図った。	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (3,130千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設1件 改修12件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光総合案内所運営事業 (再掲) (15,589千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま観光未来創造塾事業(再掲) (18,880千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図ったほか、とやま観光未来創造塾10周年を記念したセミナーを開催した。 ○修了生 43名 (内訳)観光地域づくり入門コース 9名 観光ガイドコース(中級専攻) 8名 観光ガイドコース(上級専攻) 3名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 6名 観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 10名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 1組3名	観光振興室
とやま名誉友好大使の委嘱 (100千円)	外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・新規委嘱数 29人 (全体1,555人委嘱)	国際課

(3) 欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米観光客誘致旅行サイト等活用事業 (1,612千円)	世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」や「ミシュラン・グリーンガイド」を活用し、欧米からの誘客促進を図った。	観光振興室
新規観光素材提案事業 (1,997千円)	体験型観光等の新たな観光素材画像を追加して、旅行者に提供し、体験型の観光商品の造成を図った。	観光振興室
伏木富山港クルーズ客船誘致推進事業 (4,808千円)	専門家と連携し、船社幹部の招請や受入体制強化を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
クルーズプロモーション強化事業 (7,378千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化（欧米市場等へのセールス）、クルーズ客船誘致に係るコーディネーターやセールス専門員の配置等を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
環日本海クルーズ推進連携事業 (314千円)	小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港で構成する「環日本海クルーズ推進協議会」の運営や、全国クルーズ活性化会議への参加により、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室

(4) 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾誘客促進PR事業 (900千円)	旅行会社やメディアの招聘等を実施し、台湾からの誘客促進を図った。	観光振興室
富山ー台北便活性化誘客推進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
台湾観光案内サポーター設置事業 (181千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光振興室
香港観光客誘致コンサルティング業務委託事業 (2,700千円)	現地旅行会社等との連絡調整、情報収集を行うコーディネーターを配置し、香港からの更なる誘客促進を図った。	観光振興室
台湾観光交流促進事業 (2,216千円)	台湾からの訪日旅行、日本からの訪台旅行双方の促進と、相互交流人口の拡大を図るため、台湾での大型旅行博へ出展し、観光PR等を行った。	観光振興室
中国便利用促進に向けた観光客誘客促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光客誘致広告 支援事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
富山ーソウル便 活性化観光客誘 致促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
大連事務所運営 費 (16,915千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション」等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等	国際課
とやまの農林水 産物輸出促進事 業 (15,736千円)	県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。 ・香港、台湾、シンガポールの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・香港マキシムグループ「千両」での県産食材PR等 ・香港「フード・エキスポ」及びシンガポール「Food Japan」は、参加に向けて準備したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催自体が中止	農林水産企画課

6 コンベンションの誘致促進：国際会議も富山で開こう

(1) 国際会議の誘致強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,450千円)	<p>ICCA(国際会議協会)のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。</p> <p>また、大学教員等のコンベンション主催者を対象に本県の支援制度等を紹介するセミナーを実施し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。</p> <p>・令和2年7月24日</p>	観光振興室

(2) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,818千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室
コンベンション誘致促進事業 (2,676千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光振興室
コンベンション誘致宣伝事業 (207千円)	<p>本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカージョンのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。</p> <p>・国際MICEエキスポ・オンライン 令和3年2月24～26日</p>	観光振興室
誘致訪問活動 (251千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
MICE 誘致推進事業 (3,780 千円)	県内で開催が予定されていたコンベンションで延期・中止等になったものに対し、挨拶状の送付や訪問による誘致活動を実施した。	観光振興室

(3) 主催者のニーズに配慮した支援制度の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山国際会議場運営費補助金 (20,538 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
学会等開催補助金 (300 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 2 件	観光振興室

(4) 富山の魅力を活かしたユニークベニューやアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山の MICE 魅力発信事業 (4,000 千円)	コンベンションの本県誘致を促進するため、MICE 会場やエクスカージョン先を紹介するプロモーション動画及び文化施設等のユニークベニューを紹介するガイドブックを作成した。	観光振興室
コンベンションタクシー助成事業 (5 千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 1 件	観光振興室
おもてなしタクシードライバー養成事業(再掲) (758 千円)	タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。 ・養成研修：令和 2 年 7 月 30 日 ・表彰：令和 2 年 12 月 6 日、表彰者 11 人 コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。 ・令和 2 年 10 月 16 日、23 日、30 日(参加者 39 人)	観光振興室